

2011年度

科目名	日本文学史Ⅲ				
担当教員	横田 隆志				
配当	日文2		コード	13028	
開期	後期	講時	月曜日3限	単位数	2
授業テーマ	中世文学史を概観する				
目的と概要	中世という時代には、洗練された歌語によって美の極地を目指した『新古今和歌集』のような作品もあれば、自力救済の社会を生きる人々の姿を生々しくとらえた説話や軍記、伝承や絵画作成ともゆかりの深いお伽草子、劇文学である能・狂言など、実にさまざまな文学ジャンルが存在しました。この授業では、さまざまな文学ジャンルの作品世界とその背景を理解することで、中世文学に関する基礎的な知識を身につけることを目的とします。				
成績評価法	平常点(50%)・試験(50%) ※平常点は小テストの点数を含みます。小テストは授業進度に応じて適宜実施します。				
テキスト	プリントを配布します。				
参考書	授業のなかで適宜紹介します。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	参考図書を読んでおくこと				
講義計画					
第1回	『新古今和歌集』の世界				
第2回	連歌の世界				
第3回	鴨長明と『方丈記』				
第4回	兼好法師と『徒然草』				
第5回	軍記の世界 1 『平家物語』				
第6回	軍記の世界 2 『太平記』				
第7回	説話の世界 1 『宇治拾遺物語』				
第8回	説話の世界 2 無住と『沙石集』				
第9回	お伽草子の世界 1				
第10回	お伽草子の世界 2				
第11回	説教節の世界				
第12回	能・狂言 1				
第13回	能・狂言 2				
第14回	中世文学の意義				
第15回	まとめ				